

解答

一

- 問一 善行
問二 イ
問三 イ
問四 野原でウサギを捕まえ買い取ってもらったり、そのお金で旅行の計画をしたりすることは、戦争のように、一人まえのおとなになったような気持ちを味わえるから。
問五 エ
問六 ウ ↓ エ ↓ ア ↓ イ
問七 ウ
問八 今までピムとけんかしたことはあったが、ウサギのことで今回ピムに言われた言葉は、ピーターを分離するようなものだったから。
問九 ウ
問十 エ
問十一 a にんむ b せんりょう c ごうじょう d くちぶえ

二

- 問一 エ
問二 光も文明も、正体のわからなかったものを明るみに出し、こわさを感じさせなくする点。
問三 イ
問四 こわさが、人間の想像力にうませたもの（ということ）。
問五 エ ↓ ウ ↓ ア ↓ イ
問六 ア
問七 信頼できる身近な存在がいれば少なくなり、ひとりぼっちになると増えるもの。
問八 こわさを感じさせる条件 : ア・イ・エ・カ・ク
問九 こわさを消そうという条件 : ウ・オ・キ・ケ・コ
問十 ウ
a 着陸 b 現象 c 囲〔まれ〕 d 失望

解説

一

- 問四 戦争中は「りっぱに一人まえのおとななみにとりあつかわれていた」ピムとピーターは、「遊戯なんかしたって、何がおもしろいんだ」と退屈していましたが、「野原でウサギを捕まえることをおぼえ」、「ヘンク・アルでヴァールのところにもって行って売り」「イギリスに旅行する計画をたてていました」とあり、わくわくしている様子がわかります。
問八 ウサギがなくなったことで二人は言い争いになり、ピーターはピムに「帰っちまえ。おまえなんか！」とカッとなり、「おれひとりでやる！ さあ、とっとといっちなまえよ。ルトにいいつけてこい」とつき離されてしまった様子が描かれています。

二

- 問二 前の部分で「おぼけは、明るみに出て来て、正体がばれる」「文明は、人間の光のようなものをもたらす」とあります。「人間は、自分の知っているものには、こわさを感じない」「はつきりと説明がつくと、こわさを感じなくなる」という点で似ているのだと述べられています。
問七 前の部分で「一緒にいてくれる自分のよく知った人間」がいて「こわさが少なくなる」と述べられています。また、後ろの部分で「ひとりぼっちのさびしさは、そのこわさを、さらに増す」とあります。